

平成26年度国立大雪青少年交流の家事業計画一覧

No.	事業種	事業名	継続年数	事業の目的	事業内容	期 間	対 象	募集人数(人)	備 考
1	教育事業 (看板事業)	「体験の風をおこそう」運動協賛事業 「登山指導者研修会」	4	□学校をはじめとする集団登山を安全に実施するために必要な知識と技術を身につける。 □登山をとおして、自然の恩恵に気づかせるための指導法について理解する。	○登山の技術 ○事前、本番、事後の一連の安全対策	H26.6.21(土)～22(日)	教育関係者 青少年教育の指導者を目指す者(18歳以上)	20 (先着順)	美瑛町内教職員をターゲット
2	教育事業 (モデル事業)	「体験の風をおこそう」運動協賛事業 「ワイルドライフキャンプ2014」(仮称)	1	□「機構活性化プラン」(平成22年1月提示)を踏まえた体験重視の内容とする。 □先導的なプログラム開発事業とする。	○現実の世界や生活などへの興味・関心、意欲の向上を目指す ○問題発見や問題解決能力の育成を目指す ○思考や理解の基盤づくりを目指す ○自己との出会いと達成感や自尊感情の獲得を目指す ○社会性や共に生きる力の育成を目指す	夏休み期間 1週間程度の長期キャンプ	小学校3～6年生	20人程度	
3	教育事業 (モデル事業)	「体験の風をおこそう」運動協賛事業 「びえい冒険キッズ」(仮称)	1	□美瑛町等の公民館子供事業に参画し、運営及び指導のノウハウを提供する。	○企画・運営の支援と協力 ○会場提供 ○指導者派遣 ○変更調査の支援 ○施設ボランティア派遣	美瑛町公民館事業計画に準ずる	小学生	市町村案	【プログラム支援の観点】 体験活動の機会 良好な人間関係 望ましい生活習慣 読書運動の推進
4	教育事業 (特別事業) 自由部門	◆文部科学省委託事業 「体験の風をおこそう」運動協賛事業 「Youth of World」	1	□日本と諸外国の青年が様々な体験活動をおして交流する。 □自国や他国の文化と伝統等を理解し、協調しながら生きていくために必要なグローバルな資質を備えた人材を育成する。	○自然体験 ○生活体験 ○文化体験 ○とことんスピーチ ○とことん北海道巡り	①H26.8.10(日)～12(火) ②H26.12.21(日)～23(火)	留学生 日本の青年	40 (日本と外国の青年各20)	参集方法～北海道内の大学にアプローチ 日本人青年に関しては外国語学科の学生 ①1泊目:他施設 2泊目:大雪 ②要注意!!帰国の割合高い
5		「国際理解度」調査	1/3	□日本と諸外国の青年との交流の機会をとおして、国際理解に関する変容調査から、事業の効果を測定、検証する。	○調査対象 国際交流事業参加者(日本人、外国人) ○調査方法 量的調査(事前、事後) 質的調査(事後) ○測定尺度 国際理解測定尺度の活用 項目の抽出と修正	調査実施期日は事業実施日とする	事業参加者	40	
6	教育事業 (指導者養成事業)	◆文部科学省委託事業 「体験の風をおこそう」運動協賛事業 「教員免許状更新講習」	1	□学習指導要領における体験活動の取扱いを理解する。 □教員自らが体験活動を行うことで、安全に配慮した指導法と技術を身につける。	○学校教育の現状と課題 ○学校教育における体験活動の意義 ○体験活動と安全管理	H27.1.10(土)～12(月)	主として該当する小学校教諭 ※終了確認期限H.27.3.31～ H28.3.31	20 (先着順)	継続年数について～H25年度未実施のプランクがあるので1扱い ※道)幼稚園新任研修7/28～7/31 ※上川局)新任教員研修8/5～8/7or8/6～8/8
7		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 「北海道 体験活動指導者セミナー」(仮称)	5	□北海道の自然を有効活用した体験活動の指導法とその技術を身につける。 □学校教育における体験活動の意義について理解し、教育課程との関連性について知る。	○学校教育における体験活動の意義 ○教育課程と体験活動の関連性 ○プログラムの企画立案 ○自然体験活動の技術 ○体験活動の指導法 ○安全管理	H26.10.11(土)～13(月)	教育関係者 青少年教育の指導者を目指す者(18歳以上)	20 (先着順)	※日高との共催 H26は日高会場 H27は大雪会場
8		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 「ゆーすびあ・ボランティア塾」(仮称)	7	□ボランティア活動を行う上で必要な知識・技能について講義、演習、実習から習得する。 □青年層の自立を促し、生きがいを見出し生き抜く力を磨く契機とする。 □生活の基本となる「衣」「食」「住」に着目し、ボランティア人材育成をとおしてプログラム開発を行う。	○青少年教育への期待 ○子供の発達心理 ○集団活動と豊かな心の育成の関係 ○自然体験活動と安全 ○野外の遊び ○野外調理 ○救命救急 ○先輩ボランティアから学ぶ ○1年次目～「食」に関わるプログラム開発 ○2年次目～「衣」「住」に関わるプログラム開発 ○3年次目～モデル事業の実施と検証から、普及啓発に向けたプログラム集を作成する。	【基本編】 ①H26.5.17(土)～18(日) 【応用編】 ②H26.9.13(土)～14(日) 通年 【1年次目の取組】 ○給食委託業者との共同開発 ○ボランティア参加者をモニターとした食育調査 ○調理体験の実施とレシピの作成 【2年次目の取組】 ○野外活動に適した服装と指導 ○野外活動のための装備と指導 ○安全に活動するための心構え ○集団宿泊体験から「生きる力」を身につける ○自主性、自立心に必要な臨地研修(清掃・配膳・入浴など) 【3年次目の取組】 ○モデル事業実施 ○検証 ○プログラム集作成と普及啓発	高校生、大学生、専門学校生、勤労青年 高校生、大学生、専門学校生、勤労青年	各20	※管内社会教育主事会・高等学校・大学等に周知し、参集。それぞれの活動の場で効果的に活躍できるスキルを身につけるための役割を果たすために事業とする。 ※地域連携事業で活用 ※給食業者(株)雪印パーラーが実施する食育に関する調査と連携 (アンケート実施のモニター協力、試食・試作の協力を交流の家が担う)
9		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 「大雪コミュニケーションプログラム」 (公立施設支援事業)	3	□あらゆる状況や場面で必要とされるコミュニケーション能力を向上させるための指導法と技術を身につける。	○効果的な学びの場づくりのためのコミュニケーショントレーニング ○演劇的手法からより良い発信と受信について学ぶ	H26.4.26(土)～27(日) 部分参加可能	教育関係者 青少年教育の指導者を目指す者(18歳以上) 大学生、一般	各30	強化:上川管内各市町村社会教育関係職員、高校教諭、 ※小1プロブレム、中1ギャップ、高1クライシス ※道青教協との連携
10		「体験の風をおこそう」運動協賛事業 「教職員を対象とした長期休業中における校外研修」	2	□本道の児童生徒に必要とされる「体験活動の機会」、「良好な人間関係」、「望ましい生活習慣」、「読書活動の重要性」の観点から学校教育現場で活用できる研修を提供する。	【観点】 ○「体験活動の機会」、「良好な人間関係」 ○学校教育における体験活動の意義 ○学級経営の充実 ○自然体験活動の技術 ○指導案作成と体験活動の活用 ○「望ましい生活習慣」、「読書活動の推進」 ○習慣化、日常化させるための手法 ○社会教育施設を活用した指導の充実	通年 各教育事業に組み込ませる 案内以外の希望日程の相談は随時	教育関係者	制限無し	

No.	事業種	事業名	継続年数	事業の目的	事業内容	期 間	対 象	募集人数(人)	備 考
11	リレーションシップ事業	子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業「体験の風をおこそう」運動協賛事業「ゆーすフェスタ2014」	5	□教育資源を活かした体験プログラムを地域と協働で提供することによって、世代や地域を越えた多様な「交流」の場を創造する。 □より多くの国民に施設の取組と機能をPRし、新規団体の拡充につなげる。 □「新しい公共」型の運営方針から、様々な外部との連携による運営のあり方を確立する。	テーマ「キテ・ミテ・ハッケン！大雪タイケンの祭典」 ○普及啓発・パフォーマンス部門 ○自然体験部門 ○体験活動部門 ○仕事体験部門 ○物販部門 ○展示部門	H26.10.5(日)	一般	1,100	
12		子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業「体験の風をおこそう」運動協賛事業「白金カップXC記録会」	7	□記録会をとおして、冬季の健康・体力の増進を図るとともに、参加者の交流を深める。	○スポーツをとおした交流会 ○チューンナップ講習会 ○記録会	H26.12.6(土)～12.7(日)	個人及び団体参加	300	
13		子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業「体験の風をおこそう」運動協賛事業「大雪冬のレクススポーツ祭典」	2	□スキーを活用した野外活動をとおして、身近な冬の自然に親しむ態度を養う。 □冬の体力向上や生活リズムの大切さについて理解する。 □異年齢の集団遊びをとおして、友だちとの関わり方や集団遊びの楽しさを醸成する。	○スキー基本講習 ○雪原散策と自然観察 ○レクリエーションによる交流会 ○宿泊体験 ○早寝早起き朝ごはん体操	H27.2.21(土)～2.22(日)	美瑛町内及び近隣市町村の小学生	100	
14		子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業「体験の風をおこそう」運動協賛事業 子どもゆめ基金説明会	2	□民間団体が実施する子供の体験活動や読書活動等支援基金の申請方法に関する説明及び相談機会を提供し、申請団体の拡充を目指す。	○子どもゆめ基金概要説明 ○申請方法 ○プログラム相談	9月～10月 4会場(旭川、北見、札幌、函館)	青少年の健全育成の推進を目的として活動している民間団体など	80団体(各20団体)	
15	美瑛町連携推進事業	「体験の風をおこそう」運動協賛事業美瑛町幼稚園・保育所「早寝・早起き・朝ごはん」プロジェクト	1	□子供たちの生活リズムが向上し、基本的な生活習慣を身につけるために、幼児期段階から普及啓発を展開する。	○関係機関及び団体が主催する事業等への参画	通年	幼・保育園児 児童・生徒、保護者		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
16		「体験の風をおこそう」運動協賛事業美瑛町子供水泳教室プロジェクト	1	□交流の家が所有する温水プールを美瑛町の子供達に提供する。 □水と親しむこととおして、泳法技術と泳力を培う。		夏季、秋・冬季	児童・生徒		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
17		「体験の風をおこそう」運動協賛事業美瑛町大人水泳教室プロジェクト	1	□交流の家が所有する温水プールを美瑛町民に提供する。 □冬期間家にこもりがちな成人対象に、運動不足解消とともに、健康増進及び風邪罹患対策として実施する。		冬季	主に町民		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
18		「体験の風をおこそう」運動協賛事業美瑛町シルバー健康増進プロジェクト	1	□美瑛町教委所管高齢者学級会員向けに、健康維持及び体力向上のためのプログラムを提供する。 □引きこもりがちな高齢者のライフスタイルの改善を目指した交流やふれあいを目的に実施する。		通年	すずらん大学加入者		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
19		「体験の風をおこそう」運動協賛事業美瑛町子育て支援プロジェクト	1	□乳幼児を持つ親子を対象に、望ましい生活習慣、育児に役立つ運動事例など、親同士の交流を重視したプログラムを提供する。		通年	町民		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
20		「体験の風をおこそう」運動協賛事業美瑛町親子育みプロジェクト	1	□小学校入学前の幼稚園児と保護者を対象に、安心して小学校へ入学できるように、望ましい生活習慣や学校教育についての理解を図るとともに、親子の交流を重視したプログラムを提供する。		2月中旬～3月上旬	小学校入学前の幼稚園児、保護者		保健福祉課、公民館、美瑛町、美瑛町教育委員会、美瑛町図書館
21		「体験の風をおこそう」運動協賛事業美瑛町学校教育応援プロジェクト	1	□美瑛町内小中学校に向けて、定期的に情報提供を行い、学校経営に役立つための応援を行う。(スキー、校外研修等)		通年	児童・生徒、教員		美瑛町教育委員会、小・中学校
22		「体験の風をおこそう」運動協賛事業白金地区活性化プロジェクト	1	□交流の家の拠点である白金地区の民間企業等と協働し、景観美化や安全対策を重視した取組を行う。		通年	美瑛町		美瑛白金温泉観光組合
23	地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業	「体験の風をおこそう」運動協賛事業生活リズム向上応援プロジェクト	1	□北海道内市町村が取組む生活リズム改善のための事業に参画し、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会の趣旨に則した様々な普及啓発活動を実施する。	○関係機関及び団体が主催する事業等への参画	通年	幼児、児童・生徒、保護者		
24		「体験の風をおこそう」運動協賛事業健康・体力向上応援プロジェクト	1	□北海道教育推進計画(改訂版)と運動し、北海道教育委員会の取組である「体力向上支援プログラム」と参画した継続的なスポーツ・運動・外遊びの体験の支援を実施する。		通年	幼児、児童・生徒、保護者		
25		「体験の風をおこそう」運動協賛事業読書推進応援プロジェクト	1	□北海道内市町村が取組む読書活動推進の事業に参画し、子供たちの自主的な読書活動を目指し、様々な普及啓発活動を実施する。		通年 ※重点～読書週間	幼児、児童・生徒、保護者		公立図書館、公民館図書室、道立図書館
26		「体験の風をおこそう」運動協賛事業通学合宿応援プロジェクト	1	□北海道の子供たちの豊かな心と健やかな体の育成に向けて取組まれている通学合宿に参画し、道徳教育、読書活動、体験活動、体力・運動能力の向上、食育、安全教育などバランスのとれた内容を提供し、健全育成を図る。		通年	幼児、児童・生徒、保護者		市町村教育委員会
27		「体験の風をおこそう」運動協賛事業企業応援プロジェクト	1	□交流の家の研修支援事業に民間企業の研修機会を位置付けることにより、交流の家の社会貢献の機会とする。		通年	道内全域の民間企業		
28		「体験の風をおこそう」運動協賛事業体験活動提供プロジェクト	1	□北海道内で展開される体験をメインとしたイベントに参画し、「体験の風をおこそう」運動の普及啓発を推進する。		通年	道民		
29		「体験の風をおこそう」運動協賛事業北海道スポーツ推進委員連合連携プロジェクト	1	□子供の体力向上を図るため様々な取組を展開する。		通年	児童・生徒、保護者		
30		「体験の風をおこそう」運動協賛事業北海道社会教育委員連携プロジェクト	1	□北海道に存立するナショナルセンターとして、国立の青少年教育施設の役割と機能について情報提供し、より良い連携の下、様々な取組を展開する。		通年	北海道の社会教育委員		
31		「体験の風をおこそう」運動協賛事業北海道子ども会育成連合会連携プロジェクト	1	□「体験の風をおこそう」運動推進委員会構成団体である公益社団法人全国子ども会連合会に加盟する団体であることから、様々な集会をとおして普及啓発を促進する。		通年	道内の子ども会		
32		「体験の風をおこそう」運動協賛事業北海道私立幼稚園協会連携プロジェクト	1	□子供たちの生活リズムが向上し、基本的な生活習慣を身につけるために、幼児期段階から普及啓発を展開する。		通年	園児、保護者		
33		「体験の風をおこそう」運動協賛事業北海道山岳シンポジウム	1	□遭難防止の対策について					北海道山岳遭難防止対策協議会 北海道山岳連盟
34		「体験の風をおこそう」運動協賛事業カタリバ北海道研修事業	1	□大学生が高校に向く出前授業「カタリ場」の研修		2月中旬	大学生		カタリバ北海道